

FAX 076-433-4207
とやま産学官金交流会2014実行委員会 事務局 行

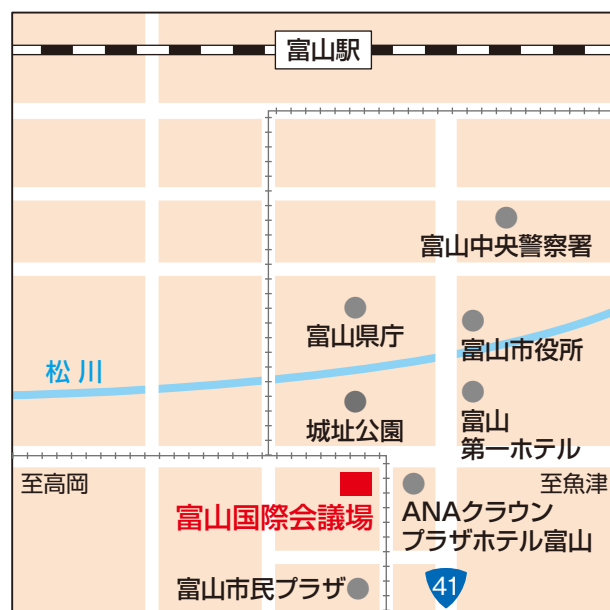
とやま産学官金交流会2014

参加申込書

企業名 団体名			
所在地	〒		
担当者名		TEL	

● 参加者名記入欄

所属名	役職名	氏 名	情報交換会(有料) ○で囲んで下さい
			参加 不参加
			参加 不参加
			参加 不参加
			参加 不参加
			参加 不参加



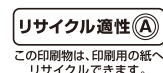
お申し込み・お問い合わせ



公益財団法人
富山県新世紀産業機構

とやま産学官金交流会2014実行委員会 事務局
〒930-0866 富山市高田529
TEL 076-444-5606
FAX 076-433-4207
E-Mail sangakukan@tonio.or.jp

参加申込締切期日
平成26年11月17日(月)



とやま産学官金 交流会 2014

入場
無料

テーマ

富山の産業と未来を拓く新幹線

日時

平成26年12月2日(火) 13:30~19:30 (受付12:30~)

会場

富山国際会議場 メインホール (富山市大手町1番2号)

【主催】

富山県／富山大学／富山県立大学／富山高等専門学校
とやま技術交流クラブ／(公財)富山県新世紀産業機構

【協賛】

富山大学産学交流振興会
富山県立大学研究協力会
富山高等専門学校技術振興会
富山国際大学
(一財)北陸経済研究所
(一社)富山県機電工業会
富山県プラスチック工業会
(一社)富山県アルミ産業協会
(一社)富山県繊維協会
(一社)富山県薬業連合会
富山県中小企業融合化推進協議会
富山県バイオ産業振興協会
富山県深層水協議会
とやま創造倶楽部
富山県中小企業経営モデル企業研究会
(株)北陸銀行
(株)富山銀行
(株)富山第一銀行
富山信用金庫
高岡信用金庫

【後援】

中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局
北陸財務局富山財務事務所
富山市
高岡市
富山県中小企業団体中央会
富山県商工会議所連合会
富山県商工会連合会
富山商工会議所
高岡商工会議所
北陸経済連合会
富山経済同友会
(一社)富山県経営者協会
北陸職業能力開発大学校
フォーラム富山「創薬」
(一社)富山県情報産業協会
富山県医薬品工業協会
富山県化学工業会
(株)富山県総合情報センター
富山県環境科学センター
富山県衛生研究所
富山県薬事研究所
富山県工業技術センター
富山県総合デザインセンター
富山県農林水産総合技術センター

とやま産学官金交流会2014ホームページ <http://www.tonio.or.jp/gijutsu/sangakukan2014.html>

とやま産学官金交流会2014実行委員会

開催の趣旨

日本経済が力強く回復し持続的な成長へとつながることが期待されるところであります、予断を許さない状況がまだ続きそうです。

そういった中であって、地元富山では来春に待望の北陸新幹線が開業いたします。新幹線効果を極大化しさらなる地域発展に結びつけるためには、産学官金がしっかりと手を結び、地域の強みを活かした特徴あるものづくり技術を育成・発展させていかなければなりません。

本交流会は、産学官金の一層の連携強化の後押しになることを願って、「富山の産業と未来を拓く新幹線」をテーマに掲げ、基調講演、ポスターセッション、とやまのプロジェクトX、情報交換会等を内容として開催いたします。

多数の皆さまのご参加をお待ちしております。

プログラム

開 会 式 13:30～13:40

基調講演 13:40～15:00

演 題

「富山県のものづくりの更なる強化に向けて」



講 師

YKK株式会社 取締役副社長
一般社団法人 富山県機電工業会 会長 **大谷 渡 氏**

1959年生まれ、埼玉県出身。81年 慶應義塾大学商学部卒、吉田工業株式会社（現在：YKK株式会社）入社。01年 常務 経営企画室長、04年 取締役 上席常務 経営企画室長、09年 取締役副社長 技術力強化推進担当を経て10年 取締役副社長 工機技術本部長就任、現在に至る。08年 London Business School Senior Executive Programme (SEP66) 修了。14年 一般社団法人 富山県機電工業会会長。

YKKにおける技術経営の考え方を踏まえ、富山県のものづくりの強さを継続・強化していくために、産学官金それぞれの分野で必要と思われるポイントについて提案を行います。

ポスターセッション 15:10～16:10

県内の企業、高等教育機関、公設試験研究機関等の技術シーズ及び産学官金連携による研究・技術開発の成果などを一堂に展示します。展示会場ごとに、出展者による発表タイム（一人3分以内）も設けます。

会 場／2階会議室、3階ホワイエ

とやまのプロジェクトX 16:20～17:50

新幹線を支える富山のものづくりの事例を紹介します。

座 長：鳥山 素弘 氏 富山県工業技術センター 所長

はじめに

北陸新幹線の新型車両についてJ R西日本から説明していただきます。

■ 標 題

「北陸新幹線E7系/W7系の概要」

■ 概 要

JR西日本とJR東日本は、北陸新幹線金沢開業に合わせて新型新幹線車両の共同開発を進めてきた。この北陸新幹線の線区には約30kmに及ぶ30%の勾配区間があり、電源周波数が50/60Hzの2周波対応になるなど、車両には厳しい走行条件となっている。特に今回の開業区間においては日本で有数の積雪地帯を走行することになる。新しく開発した車両は、JR東日本のE2系やE5系等の既存車両をベースに、「高い安全性・信頼性」、「更なるお客さまサービスの向上」を追求した車両としている。

■ 講 師

麻生 隆司 氏

西日本旅客鉄道株式会社 鉄道本部 車両部
車両設計室 担当課長

事例紹介

事例1

■ 標 題

新幹線の速さを支えるアルミの技術
－ 新幹線とアルミ産業の関わり －

■ 概 要

日本が誇る高速鉄道技術「新幹線（shin-kansen）」は海外でも広く認知されています。その優位性に大きく寄与しているアルミニウムの利用技術を、当社製品の採用例や今後の期待を交えながらご紹介いたします。

■ 発表者

花木 悟 氏

三協立山株式会社 三協マテリアル社
基盤技術部長

事例2

■ 標 題

輝きの世界、ガラスの無限の可能性を求めて
－ 北陸新幹線E7／W7 フロントガラス製造への想い －

■ 概 要

北陸新幹線の優美な流線型のフロント部分の中でも、一際存在感を示す1枚の大きな曲面ガラス。創業以来60余年の間に培った曲げ加工技術により、従来の新幹線とは異なるフロントガラスを実現した。困難な案件に自ら挑戦することで、試行錯誤を重ね創意工夫を繰り返しながら技術を磨き、顧客の注文に添えてきた、その積み重ねが、現在の高技術・品質に繋がっている。

■ 発表者

新海 伸治 氏

新光硝子工業株式会社
代表取締役社長

事例3

■ 標 題

県産スギの美しい本木目が新幹線利用客をお出迎え
－ 意匠性の高い県産スギ利用不燃壁材 －

■ 概 要

公共建築物等における木材の利用促進に関する法律が施行され、富山県においても公共建築物への県産材の利用が求められるようになった。その背景から、大壁面の施工に適した高意匠かつ、公共施設に要求される不燃材料としての性能を満たした富山県産スギ利用壁材を開発した。現在、北陸新幹線駅舎に採用されている。

■ 発表者

新田 健 氏

大建工業株式会社 住空間事業統轄部
住空間事業開発部 リーダー

情報交換会 18:00～19:30

様々な分野から参加される皆さまの情報交換と懇談の場を設けます。

会 場／2 階会議室 参加費／ 3,000 円（一般）、1,000 円（学生） ※当日受付にて申し受けます。